

2021 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜「AO 入学試験 1 期」

入試問題様式

試験科目：「小論文」

日 程：2020 年 10 月 17 日 (土)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

芸術 学部 芸術 学科 舞台芸術 領域

対象コース： _____

[課題]

多くの人に舞台芸術を楽しんでもらうためには、鑑賞者の立場に立った様々な工夫が必要です。あなたの創ってみたい舞台芸術の分野（音楽・演劇・舞踊）、或いは具体的な演目を挙げ、鑑賞者を想定した具体的な工夫を、あなたなりの観点で述べなさい。

[出題の意図等]

- ・ 受験生の舞台芸術への意欲を知りたい
- ・ 受験生の関心分野を知りたい
- ・ 鑑賞者の立場に立つことができるかどうかを知りたい
- ・ 鑑賞者の立場に立った上で具体的な想像力を働かせることができるかを知りたい

模範解答

自分の創りたい舞台芸術の分野は、オペラである。それは、一つのストーリーのもとに、歌、オーケストラ、舞台美術、舞踊等の魅力が一つの舞台の中で交わり、現実の世界では観ることのできない世界観が目の前で展開されるからだ。この魅力は、作品を観る鑑賞者を夢の世界にいざなうことができる。

このように、舞台芸術に触れあう目的の一つに、夢の世界を体験するということがある。夢の世界の体験は、鑑賞者に現実の生活を忘れさせる。なので、舞台芸術作品を観た後は、夢から覚めた後のような気持ちで、また日常生活に戻っていくことになるが、その時に夢の世界で得たパワーが鑑賞客を力づける。自分が舞台芸術に携わりたい理由はここにある。

では、鑑賞者に、夢のような体験として舞台芸術を楽しんでもらうための具体的な工夫はどのようなものがあるかという点、「手軽な料金」で「わかりやすい内容」を提供するという点に尽きると思う。この2点は、誰でも手が届く体験であるために必要な条件だ。手軽な料金といっても、制作費のかかるオペラにおいてはそれはかなり難しいことだろうと思うので、必要な工夫は多くのスポンサーを獲得していくことだ。そのためには、オペラ作品の素晴らしさと同時に、鑑賞者がどのような力を得るのかということも把握して、企業担当者に伝えていくことが求められるだろう。同時に、企業担当者自身に感動を味わってもらうことも絶対に必要なはずだ。そういった理解者を増やしていくために、わかりやすい内容であることが重要である。ただ、その場だけの楽しさにならないような工夫も必要なので、娯楽性と芸術性とのバランスを取るようになるだろう。

自分はこのようにオペラ作品を創っていきたいと思っている。そして、そのために必要なプロデューサーを目指し、オペラ作品をより社会にとって必要な存在になっていってもらいたいと思っている。